

動物公園で実施したイベントを紹介します
イベント実施報告

平川動物公園で思い出をつくろう

2月11日に、エサやり体験や記念撮影などを通じて、楽しい思い出を作ってくださいイベントを開催しました。今回は44組169名の応募者の中から、抽選で10組32名の方に参加していただきました。

応募動機も様々で、「家族全員がコアラに似ているから、一緒に記念撮影をしてみたい!」や「鹿児島に引っ越してきたばかりで、動物公園のことをもっと良く知りたい!」などあり、たくさんの思い出を作ってくださいよう飼育員一同工夫を凝らしました。参加された皆さんのとっても満足された表情を見て、スタッフも良い思い出ができましたよ!



レッサーパンダ「キラ」と「ソラ」へのエサやり体験!



ブラジルバクヘブラッシングのプレゼント!気持ちいいかな?



コアラに接近しての記念撮影

特別公開!ゾウのお部屋を見てみよう

3月27日と4月4日の2日間に、普段は公開していないゾウ展示場の裏側を見学できるイベントを開催しました。巨大なゾウが食べるエサや、休む寝室の紹介などを行い、ゾウの生活を感じていただきました。展示場にいるゾウを間近で観察することができ、皆さんが驚いたり、喜んだりする反応をゾウも楽しんでいましたよ!



巨大な歯にも触れる体験を実施

ゾウに接近!
鼻息も良く聞こえます!



柵の幅もとっても広い!

今後も様々なイベントを開催いたしますので、是非ご参加ください!



鹿児島市 平川動物公園

〒891-0133 鹿児島県鹿児島市平川町5669-1
 TEL.099-261-2326 FAX.099-261-2328
 ■開園時間:午前9時~午後5時(入園は午後4時30分まで)
 ■休園日:12月29日~1月1日
 URL <http://hirakawazoo.jp/>
 Facebook <https://ja-jp.facebook.com/hirakawazoo>

携帯サイトへアクセス!



編集・発行

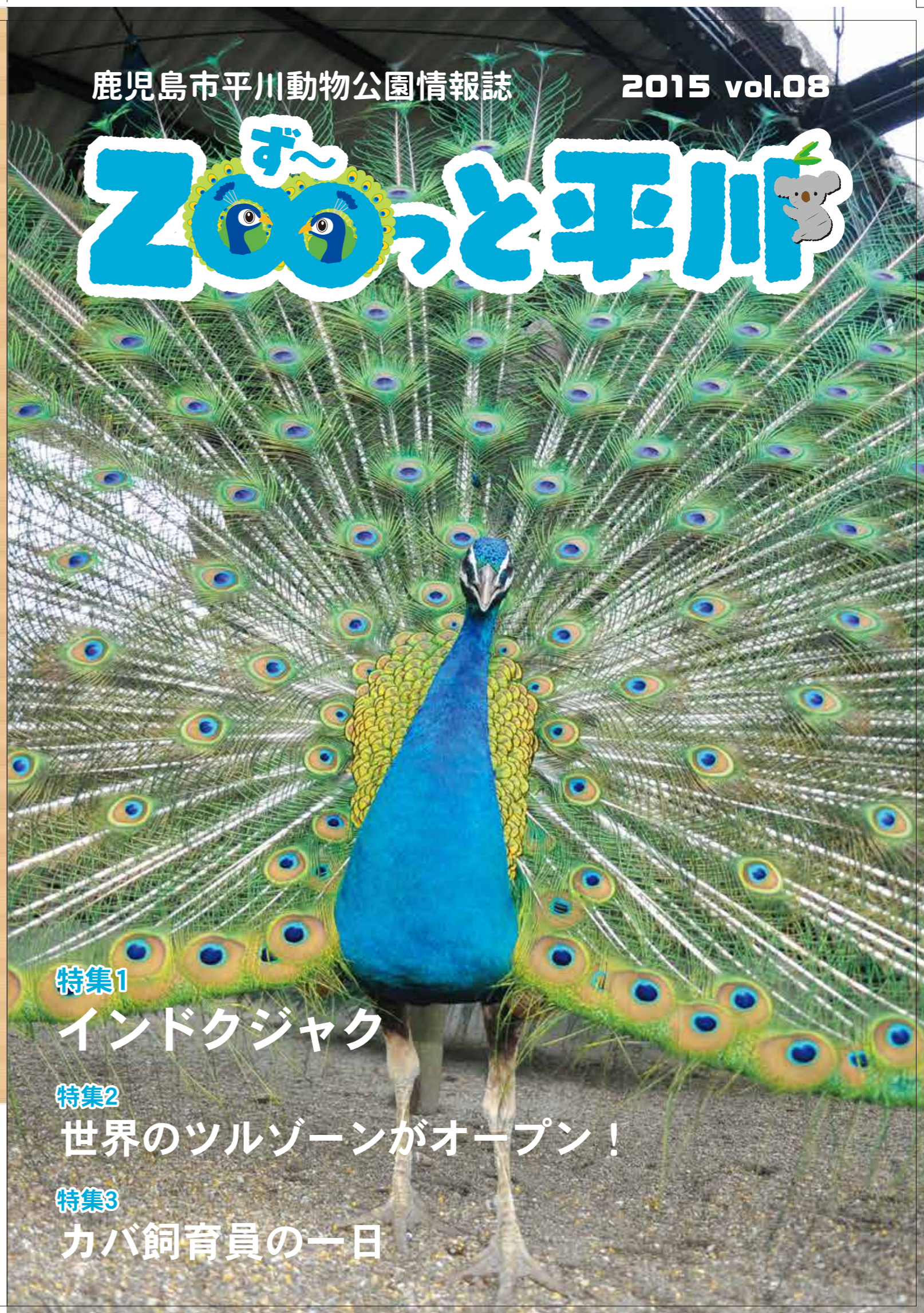


公益財団法人
 鹿児島市公園公社
 〒892-0816 鹿児島市山下町15番1号
 TEL.099-221-5055 FAX.099-223-5690
 URL <http://k-kouenkousya.jp>
 Facebook <https://ja-jp.facebook.com/k.kouenkousya>

鹿児島市平川動物公園情報誌

2015 vol.08

ZOOと平川



特集1

インドクジャク

特集2

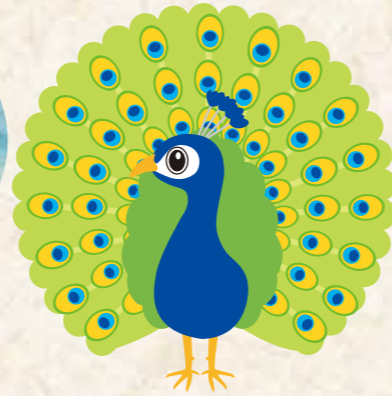
世界のツルゾーンがオープン!

特集3

カバ飼育員の一日

特集1

インドクジャク



花が咲き乱れる春の時期、クジャクの「花」も咲き乱れます。
春から初夏にかけて、最も美しく咲き誇るインドクジャクを特集します。



キジ目キジ科 学名：Pavo cristatus
英名：Indian Peafowl

インド、ネパール南部、スリランカ周辺に分布し、比較的開けた林や森、川岸などに生息します。オス1羽とメス4～5羽の小さな群れをつくっています。オスの目玉模様がある美しい尾は上尾筒(尾のつけ根をおおう羽毛)といい、本当の尾はその下に隠れています。エサは主に植物の種子や若芽の他に、昆虫や小動物などを食べます。寿命は約20年です。美しく観賞用として人気があり世界各地で飼育されていますが、飼育放棄された個体が野生化し問題になっています。突然変異で生じた白変種を1500年頃ヨーロッパで家禽として確立したものがシロクジャクです。



○動物公園での一日のエサ

- つぶえ(鶏用飼料)
- リンゴ
- キャベツ
- ミルワーム(幼虫)
- パン
- ペレット(固形配合飼料)など

○オスとメスのちがいは?

羽の長さで一目瞭然ですが、体色も全く異なります。またオスの脚には闘争で用いる「蹴爪」がついています。



オス



メス



オスの蹴爪



○クジャクの羽に注目!

シンボルになっている上尾筒以外にもいろいろな羽があります。美しい上尾筒は繁殖期が終わると抜け落ち、冬から春にかけて生えそろういます。

◀後ろから見ると羽の種類もいろいろあるのがわかります

○モテるオスってどんなオス?

繁殖期によく聞くことができる「ケーン、ケーン」という甲高い鳴き声。たくさん鳴くことで体力があることを誇示していると言われています。また、羽についている目玉模様の数が多いほど栄養状態がよいことを表し、モテる(交尾のチャンスが多い)と言われています。

○クジャクの繁殖

春から初夏にかけて産卵し、4～8個の卵をメスが温めます。抱卵期間は約4週間です。



卵を温めるのはメスの役割です



お腹の下にはこのように卵があります



うまれたばかりのヒナはとても小さいです



○びっくり!!! メスにも目玉模様の羽が生えた!?

高齢のメスにはオスのような羽が生えてくる場合があります。女性ホルモンが減少しているためです。

◀オスのように見えますが…高齢のメス個体です

飼育員からひとこと

その美しさから生息地では神聖な動物として崇拝されているクジャク。春から初夏にかけてのオスの求愛ディスプレイは本当に見事です。オスたちがメスの気を引こうとする必死な姿に、いつも感心してしまいます。(飼育員にも求愛してくる個体もいて複雑な気分にもなりますが…)一方、日本国内では野生化したクジャクが、在来のトカゲや昆虫に危害を加えていることも確認されており、要注意外来生物にも指定されています。彼らには罪がないのですが、美しいゆえの弊害が出ているのも事実です。動物公園のクジャクたちの、懸命に子孫を残そうとする姿に注目していただければと思います。

担当者:寺原、落合

特集2

世界のツルゾーンが オープンしました!

平川動物公園はツルの飼育種数が日本一!
2015年6月現在で11種類22羽のツルを飼育しています。
今回は多種多様なツルを一望できる新しいツルゾーンのご紹介です。



入口から順番に出水市に飛来するツル、しかも飛来数の多い順に並んでいるのです。出水市ゾーンを過ぎると、ユーラシア大陸・アフリカとさらに多様化していく姿を順番にご覧いただけます。

出水へ飛来するツル



マナヅル
出水市に毎年約3,000羽が飛来します



クロヅル
臆病な性格で飼育員から、ささっと逃げていきます…



カナダヅル
エサの小魚は頭を取ってから食べるマナーがいいツル!?



アネハヅル
標高8,000mのヒマラヤ山脈を飛び越える翼は体に比べてとても大きいです



ソデグロヅル
勝気な性格で、飼育員に飛びかかることも!



タンチョウ
頭の赤い部分は皮膚が直接見えています

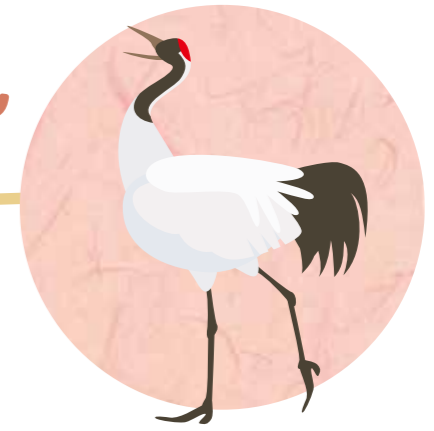


オグロヅル
中国ではジャイアントパンダと並ぶ保護対象種です

ユーラシア大陸のツル



オオヅル
とても仲が良い2羽の美しいデュエットをぜひお聞きあれ!



ひとくちにツルといっても、大きさや羽の色までさまざまです。ぜひ実際に見比べてみてくださいね!

アフリカのツル



ハゴロモヅル
長く美しい飾り羽が名前の由来



ホオカザリヅル
ほおに肉垂があるのが特徴



ホオジロカンムリヅル
王冠のような飾り羽と美しい羽色の特徴

飼育員の注目ポイント!



ツルはつがいが一生涯といわれています。2羽で飼育されているツルたちは、時折大きな声で鳴き交わしをします。これは愛情の確認であったり、警戒であったりします。ツルが鳴いていたら、美しい声だけでなく鳴き方にも注目してみてください。翼を膨らませていたり、首を振ったりとどれも個性的です。



春から夏はツルの子育てシーズン! じーっと座り込んでいるツルがいたら、卵を温めているのかもしれない。そっと見守ってあげてくださいね。



出水市のナベヅル

鹿児島県出水市には毎年10,000羽以上のツルが飛来します。そのほとんどはナベヅルで、毎年8,000羽以上になります。しかし平川動物公園では現在ナベヅルは飼育していません。ナベヅルは非常に希少なツルで、動物園での飼育数は世界中でも100羽以下、日本でも2015年時点では5羽しか飼育していません。当園は飼育下でのナベヅルの繁殖に日本で初めて成功した動物園でもあります。今後もナベヅル導入を視野に入れ、飼育下繁殖に貢献することを目標にしています。また、出水市に飛来するツルの現状や保全活動についても積極的に情報発信していきますので、世界のツルゾーンでツルについて興味を持っていただければと思います。



▲出水へ飛来したナベヅルの群れ

飼育員の一日



カバ飼育員の巻

平川動物公園にはリョウマとナナミの2頭のカバが暮らしています。彼らのお世話をする飼育員の一日を見てみましょう。

ある日のスケジュール

8:15 朝の巡回と様子観察

ダチョウの給餌

キリンのエサの準備

8:30 カバ展示場にエサの準備、放飼

キリンの放飼

9:00 ヨーロッパフラミンゴ繁殖場の掃除、給餌

9:30 カバ寝室の掃除

11:00 キリン寝室の掃除、夕方のエサ準備

12:00 昼休み

13:00 全体ミーティング

翌日のエサの準備

カバの夕方のエサの準備

14:00 ツル舎の掃除、給餌

エサの運搬

16:00 アフリカ園の動物収容

カバを寝室に収容、観察、展示場の掃除

17:00 日誌の記入・帰宅

飼育担当者: 細田真司、増満雄三
私たちが2人で担当しています。その他の担当動物はマサイキリン、ヨーロッパフラミンゴ、ダチョウなどです。

2

ダチョウの給餌

ダチョウが食べている様子や体に異常がないか確認。繁殖期にはメスが卵を産むので卵の回収も行います。



1

8:15~朝の巡回と観察

動物に挨拶をしながら、前日のエサの食べ残しなどを見て、異常がないか確認します。



8:30~朝のエサの準備

放飼場に出すためにエサを準備します。朝のメニューは干し草5~7kg(チモン)、ペレット2kg(固形配合飼料)、キャベツ1kgです。

平川動物公園のカバ2頭



リョウマ(オス)
長崎バイオパーク生まれの6才。母親は日本で初めて人工哺育で育ったモモです。

ナナミ(メス)
神戸市立王子動物園生まれ5才。

4



どこか異常はないかな?

4

放飼

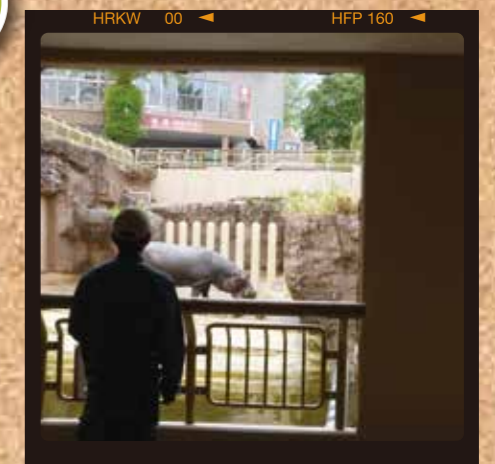
放飼前に健康管理のための口を開けるトレーニングをしています。異常などがいないか確認します。



5

観察

エサの食べ方、様子を観察します。

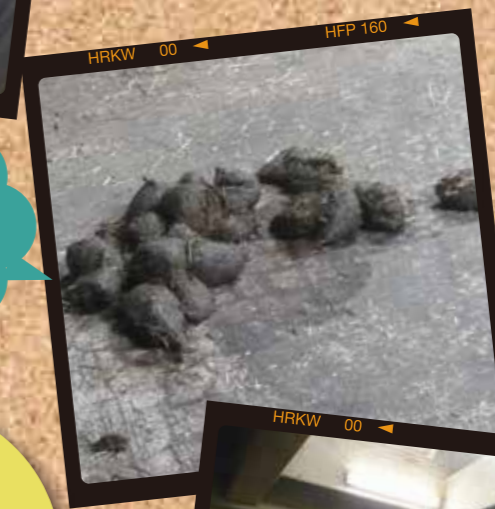


7

キリン寝室の掃除

寝室内の掃除です。床材に新しいワラを敷き詰めます。

うんちは1日約20kgします!!



6

9:30~寝室の掃除

糞の状態や前日の食べ残しをチェックし、ホースで水洗いします。



8

12:00~昼休み

午後にしっかり動くために、ご飯を食べてエネルギー補給をします!



13:00~ミーティング

全体での報告や情報を伝達します。

9



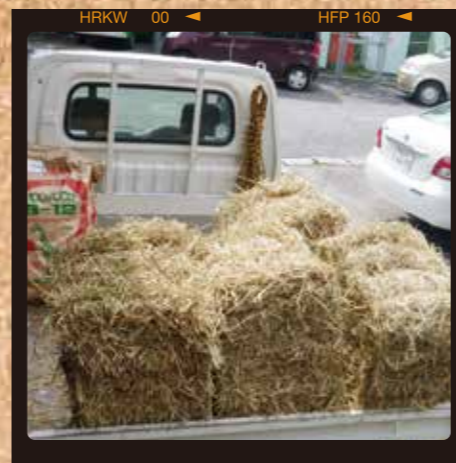
13:20～夕食の準備
夕方のエサを寢室に準備します。

10



11

14:00～ツル舎の作業
獣舎内の掃除をして給餌。エサはツルペレット、キャベツ、麻の実、ミルワーム(幼虫)などです。作業しながら、動物の様子を確認します。



12

エサの運搬
準備した夕方のエサをトラックで運びます。



13



16:00～
アフリカ園の動物の收容
キリン、シロサイ、シマウマが戻る時間帯になります。扉を開けて、寢室に誘導します。

16

帰宅
今日の仕事が終わりました。カバたちも寝ているところです。



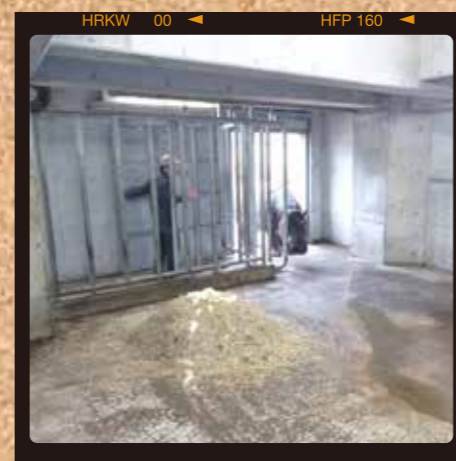
15

17:00～日誌の記入
その日の出来事や展示舎の気温などを記入します。必要に応じて獣医師に報告と相談をします。



14

カバの收容・放飼場の掃除
放飼場の扉を開けて、寢室に誘導します。今日も一日おつかれさま!!



今日も1日
おつかれさま～

飼育員からひとこと

hippopotamus



大きな体に大きな口を開けるカバは、いつも水の中で寝ている動物とされているのではないのでしょうか?決して怠けているわけではなく、巨体を維持するために日中はじっとしてエネルギーの消費を抑えているのが本来の姿なのです。動いているカバを見たいという方は、開園直後のエサの時間や夕方の寢室に收容する前にご覧ください!

2頭の関係ですが、リョウマにとってナナミは大切な存在で、ナナミの姿が見えなくなるとオロオロし落ち着かない様子です。一方、ナナミは恋より団子!?なのか、夕方は部屋でエサを食べたいのか、口で扉をドンドンたたくのが日課になっています。今後の繁殖についても他園と協力して、計画的に進めていきたいと思っています。ご期待ください。



カバの豆知識



「カバは血の汗を流す？」

アフリカに生息していますが強い日差しは苦手です。このため皮膚は乾燥や紫外線に弱く、そのままにするとひび割れを起こしてしまいます。それらから守るために皮膚から赤い分泌液を出しています。別名「血の汗、ピンクの汗」とも呼ばれていますが、体温調節するための発汗ではなく、皮膚を保護し殺菌効果の役割があります。野生ではオス同士でケンカをし、体中に傷を負うことがみられますが、にごった水の中でも平気なのはこのおかげなのです。動物公園でも、地面で長い時間寝そべっていると「ピンクの汗」を見ることができるかもしれません。



潜入！動物公園

動物公園の裏側レポート～猛獣舎・クマ舎編～



クロヒョウ展示場内

中央にある木は、擬木というコンクリートで木を模して造られたもので、本物の木ではありません。この擬木にはヒーターが内蔵されており、寒いとき、クロヒョウがのって温まることができます。



擬木の上でくつろぐクロヒョウ。本物の木でなくても居心地がいいようで、のんびりくつろいでくれます。※平成27年4月26日にクロヒョウが死亡したため展示されていない場合があります。



ライオン展示場内のガラスビュー

動物が過ごしやすいように2つの工夫がしてあります。



もう一つは、壁に設置されたスポットエアコンです。穴から冷たい風が吹く仕組みになっていて、真夏でもライオンは快適に過ごすことができます。実は観覧側にも少しおすそ分けの風がでています。



まず一つは、地面にある擬岩です。ヒーターが内蔵されていて、寒いときは、この上でライオンがくつろぎます。



猛獣舎の寝室

脱出すると人に危害を与える恐れがある猛獣やクマなどの動物舎の扉は、3重で施錠をしています。また、扉のそばには、エサの投入口も設置されています。

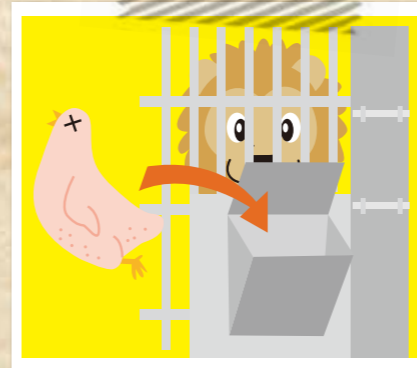


トラ舎にあるスクイズケージ

スクイズケージは、檻の中のスペースをせばめることができ、動物の動きを制限し、注射などの処置を行うことができます。



スクイズケージの横幅をせばめてホワイトタイガーへ麻酔をかける様子です。身動きが取れないのを確認してから獣医師が麻酔の注射を打ちます。



投入口を利用して動物から噛まれたり、ひっかかれたりせず、安全にエサを与えることができます。



ホッキョクグマの展示場

遠くからではわかりにくいですが、壁に仕掛けがあります。



ホッキョクグマのため、展示場にミストを出して暑さをやわらげることができます。



ホッキョクグマの寝室の様子です。寝室の奥に穴が開いた部屋があります。この部屋は、出産するときに使う産室です。



野生のホッキョクグマは、雪を掘って巣穴を作り、その中で出産します。そのため、産室も巣穴と同じように光が入らない真っ暗な部屋になっています。今まで、この産室が使われたことはありませんが、いつの日か、ここで出産してくれることを期待しています。

担当者：秋元、知屋城